

東京地区生コンクリート協同組合
〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号
電話番号 (03) 3271-2181
URL:https://www.t-namakyo.jp/
発行責任者 高村尚

＝協組の動き＝

(4月)

11日(月) 理事会(No. 1168)
25日(月) 理事会(No. 1169)

(5月)

9日(月) 理事会(No. 1170)
23日(月) 通常総会(第46回)
30日(月) 理事会(No. 1171)



“CONCRETE”

先月号コラムの海外の話題に触発されて、英単語の“concrete”についてOxford Dictionary等を紐解いてみました。まずはお馴染み、名詞として「建築資材としてのコンクリート」です。読者であれば、それこそ毎日お世話になって、夢にまで出てきそうです。次に形容詞として「具体的な、現実の」という意味があり、例えばa concrete example (具体例) 等と用いられます。それなら a perfect humanならぬ a concrete humanは「実(中身)のある人間」になるのでは期待しましたが、残念ながらそうした使い方はしないようです。最後に、動詞として「コンクリートで固める」という意味があるとのこと。う～ん、奥が深い。

人事異動

【就 労】

日付	部署	氏名
4月1日	営業部	倉持 一樹
〃	調整管理部	石井 剛

2021年度出荷実績と2022年度の展望

- 3年ぶりに前年比超(113.6%)
の出荷 -

東京協組の2021年度の出荷実績は、次のとおりとなりました。

通期の出荷数量は、前年比113.6%の2,609千m³で、これまでの最低出荷量であった前年度出荷量2,297千m³を上回る結果となりました。しかしながら前年度同様、契約残数量は高水準にあるものの、大型都市再開発工事向け出荷が低調でした。特に虎ノ門・麻布台については予定変更が頻繁に起こり出荷が低迷していること、品川地区においては、鉄道遺構調査のため2月まで休工していたこと等があげられます。

半期ごとの出荷数量については、上期は、前年比109.9%の1,220千m³でした。度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などが発出され本格出荷に至りませんでした。また、7月末から東京オリンピック・パラリンピックが開催されましたが大きな影響は有りませんでした。予想外に雨天が多く、予定の変更やキャンセルが発生し出荷が伸びない結果となりました。

下期は、前年比117.0%の1,389千m³でした。引き続き都市部での再開発工事向け数量が伸びなかったことや、年始早々からまん延防止等重点措置が発出され、少なからず影響したと思われます。しかしながら2月下旬より品川地区の工

事が再開され、出荷数量も回復してきました。

- 2022年度の需要展望とコスト上昇
分の早期価格転嫁を目指し活動 -

2022年度の需要想定は、既に大型都市再開発工事が大きく動き出したと思われことから、上期 前年比118.0%の1,440千m³、下期 前年比112.3%の1,560千m³、年度計 前年比115.0%の3,000千m³を想定しています。運転手不足を背景に、輸送力の確保に苦心しており、現場への安定納入が厳しくなることが見込まれます。ダム出荷予定の取り消し忘れや直前キャンセルは、さらなる輸送力低下に繋がることから、登録販売店に対し再度の協力をお願いしていきます。

2022年6月1日より、実施する値上げについては、不退転の決意で早期満額獲得を目指します。2022年3月末の契約残数量は、6,163千m³と組合員にとって大きな負担となる数量を抱えて新年度がスタートしました。原材料費や輸送費は日々上昇し続けており、組合員工場における厳しい収益状況は変わっていません。また、フルコストを転嫁できていない低炭素コンクリートや、いまだに減少しない残コンについて、需要家様にコスト負担を強くお願いしていきます。

2021年度実績と2022年度想定 (m³)

	2021年度実績		2022年度想定	
	数量	前年比	数量	前年比
上期	1,220,188	109.90%	1,440,000	118.0%
下期	1,388,942	117.0%	1,560,000	112.3%
年度計	2,609,130	113.60%	3,000,000	115.0%

ミニ・センチメンタルジャーニーのつもり

が原作者の代表作みたいになりました

桐生 了英



出荷がようやく回復してきたものの原材料高騰で厳しい状況ではありますが、諸先輩の皆様いかがお過ごしでしょうか。

私の現状は、日々起こる問題を対症療法がごとく処置し、将来を見越した戦略を立案しなければならないのは承知の上ですが、価格その他の問題ばかりに追われて自分を見失うような気になります。

不意に旅立ってしまった私の両親ならこの未曾有の状況をどう考えどう解決したのだろうか。とシミュレーションしても、創世期から活躍してきた実績と実力による解決方法にて正面突破したであろう結論に達しました。そしてまだひよっ子である私はその方法を行って出られないが為に、結局は思考の袋小路に陥ってしまう毎日です。

ですが物の本によると、そういつた時には自分の原点に立ち返るのが良いそうですね。私の原点あるいは原風景を考えるに、幼少期の思い出は工場だけが遊び場だった事でしょうか。けれども上野の国立科学博物館と船の科学館には頻りに連れて行ってもらいまして、科博では歴史を、船の科学館では世界を初めて知るきっかけになったと思います。

特に船の科学館は、城南島の工場に行った帰りに父が必ず寄ってくれたので非常に印象深いですね。二式大艇、1/20 大和、海底ハウス、陸奥の主砲、潜水艦コーナー、宇宙科学博覧会、巨大な船舶用ディーゼルエンジンなど記憶にある展示物を挙げていくときがありませんが、和洋帆船を始めとして古代から現代の輸送船の模型から海洋を介しての世界の繋がりを感ずりました。

普段お世話になっているガット船やセメント運搬船も模型にあった記憶がありません。係留されている宗谷では、その狭さ小ささに驚き当時の苦労が偲ばれ、元乗組員の方から操舵室にて説明を受けたりしたものです。青函連絡船羊蹄丸には昭和30年代の青森が再現され、世代では無いですがノスタルジーと良い意味での混沌を

体感できました。

他にも海洋開発をジオラマ解説しているのですが、私が幼少の頃は科学により未来は明るくなると謳っていたのに、いつから未来と科学に夢を抱けなくなってしまったのでしょうか。ちなみにそのきっかけの一つであろう原子力船むつ々の模型と解説もありました。

一番の思い出はラジコン船のコーナーにて、父が「船は横からの攻撃に弱いから、位置関係を大局的に見て戦うんだよ」と教わりつつ、操船してぶつけ合いながら遊んでくれた事です。そして帰りに売店でモーターライズ戦艦・空母やロボダッチ等を買ってくれました。幼かった当時は接着剤の溶剤の問題でプラモデルは禁止されておりましたが、私の笑顔が見たいからと母には内緒にしてくれたのは、今思い出しても涙が出てきます。

良き思い出がたくさん詰まった船の科学館も 2011年に休館となり、休館前に友人と訪問してせめてもの恩返しと思い科学館の出版物を買って漁りました。管理されている方に模型群はどうするのかと尋ねると、引き取り手は無く難しいみたいでした。資料室にも希少本絶版本が山ほどありまして、本という物は適切に管理しないとたちまち散逸してしまいますので、勿体ないとしか言いようがありません。

それから 10 年以上たちましたが、今でも現存するのは売店を改造した別館と宗谷と一部の野外展示物だけになっております。だいぶ寂しい展示になってしまいましたが、現状の困難に立ち向かうためにも過去の良き日から原点あるいは原風景を再確認しようと思立ちました。

勇気を持って新しい一歩を踏み出す為にも、久しぶりに船の科学館に行こうとしました。が、コロナで入場制限中で開館時間も短くなり、空いた時間に行くことが出来ない状態になっておりました。

おのれコロナウイルスめ!
(桐生レミコン株式会社 代表取締役)

2021年度 「労働安全セミナー」

東京都工組

東京都生コンクリート工業組合は、2月10日(木)「鉄鋼会館」において2021年度の労働安全セミナーを開催しました。

今回はプラントメーカーの日工株式会社事業本部安全衛生チームリーダーの堀晃二氏が講師として招かれ、「生コン工場の災害検証－ヒューマンエラー－」のテーマで講演をされました。関東1区における労働災害の発生状

況や、休業日数60日以上重大労災の事例を具体的に検証し、「ヒトの行動心理」の観点からの要因解析と対策について解説されました。

職場/個人の安全衛生への意識改革を前提とした「無事故無災害」への取り組みの重要性を改めて強調され、講演を締め括られました。

2021年度 「共販・経営者セミナー」

全生関東1区地区本部・東京都工組

全国生コンクリート工業組合連合会 関東1区地区本部と東京都生コンクリ

ート工業組合は、2月18日(金)都内のホテルにおいて2021年度の共販・経営者セミナーを共同開催しました。

今回は政治ジャーナリストで元産経新聞社政治部長の石橋文登千葉工業大学特別教授理事が講師として招かれ、「激動の東アジア情勢と岸田政権の行方」のテーマで講演をされました。

冒頭、主催者を代表して挨拶された吉野友康本部長は、「石橋先生は安倍元総理や菅前総理などの政府の実力者にもっとも食い込んだジャーナリストとして名を馳せた方であり、本日のお話を今後の皆さんの仕事や生活に役立てて頂きたい。」と述べられました。

2022年度登録販売店31社決定

当協組は2月から3月にかけて、契約更新に関する数量基準と共販取り組み姿勢等を踏まえて登録販売店全32社と2022年度の取引方

針に関して個別に協議を行い、31社と登録販売店取引基本契約を更新致しました。尚、2022年4月1日付けで同基

本契約書の規定の一部を改定しております。改定のポイントは「守秘義務条項の追記」と「担保取得基準の明文化」になります。

(五十音順)

1 芦沢商事(株)	9 ジャパン建材(株)	17 ティーシートレーディング(株)	25 (株)ブラスト
2 安藤物産(株)	10 新ケミカル商事(株)	18 テッケン興産(株)	26 (株)三田商店
3 上原成商事(株)	11 住商セメント(株)	19 東信建材(株)	27 三谷商事(株)
4 宇部建設資材販売(株)	12 スミセ建材(株)	20 トクヤマ通商(株)	28 三菱商事建材(株)
5 SKマテリアル(株)	13 大同建材産業(株)	21 野原産業セメント(株)	29 (株)三好商会
6 太田博(株)	14 太平洋セメント販売(株)	22 日立資材販売(株)	30 山一興産(株)
7 (株)オダ	15 塚本建材(株)	23 (株)ファノス	31 吉田建材(株)
8 三信通商(株)	16 (株)土金	24 藤田商事(株)	

周辺協組2021年度出荷実績

(m)

	東京		東関東		三多摩		玉川		神奈川		埼中		千葉西		千葉中		千葉北		合計	
	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比
上期計	1,220,188	110%	214,645	118%	315,129	85%	322,596	98%	652,740	99%	581,304	81%	383,871	100%	235,514	126%	192,410	93%	4,118,397	99%
下期計	1,388,942	117%	149,333	79%	339,028	88%	257,523	69%	629,471	97%	702,549	106%	280,026	69%	318,065	152%	204,342	97%	4,269,279	100%
年度計	2,609,130	114%	363,978	98%	654,157	87%	580,119	83%	1,282,211	98%	1,283,852	93%	663,896	84%	553,579	140%	396,753	95%	8,387,676	100%
契約残高	6,162,956		205,832		531,287		734,078		1,179,671		1,065,892		460,641		467,025		580,615		11,387,997	

わが社の安全対策

東京トクヤマ コンクリート株式会社

生コン工場での作業は、連日限られた人での連携プレーになります。これは日々業務を熟す中で、必ず「うっかり」に繋がります。当工場での対策をご紹介します。

【同じ目で見るとし穴】

毎日の見慣れた風景での作業は、第三者から見たら危険なものでも、つい麻痺してしまうものです。

当社では同じセメントグループによる、CSR(企業の社会的責任)活動の一環として、工場調査を受審することで、法令遵守や環境保護はもちろん、安全を含めた職場環境のチェックを、普段とは違った目で受けています。見落としていた箇所の指摘や、角度の違う提案によって改善につなげています。

他には、新鮮な感覚の若手社員の意見を吸い上げるため、危険箇所の洗い出しや改善の提案を、会議の場で挙手や指名と言ったハードルの高いやり方ではなく、月に1回、安全管理責任者の主催で食事を取りながらの懇談会を行い、そこで安全について回覧記入方式などを採用して忌

憚らない意見を採り上げることに成功しています。

【注意喚起の徹底】

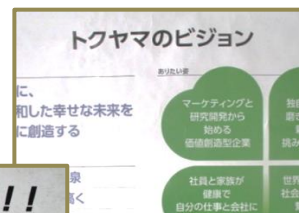
安全徹底のためには、注意喚起は欠かせないものですが、毎日毎日、口やかましく接することは、指導する側にとっても楽しい仕事ではありません。受ける側にとっても逃げ場のない空間での過度な重圧は、かえって安全行動を阻害してしまうこともあります。パワハラやモラハラとの境界が微妙でもあり、必要以上に遠慮がちになってしまいます。とは言え、安全への注意喚起は、重ね重ね、大切なことに違いはありません。

そこで当工場では構内のいたるところにスローガンやポスターを掲示し、いやでも目に入るようにしています。

いかつい顔の先輩に叱られるよりも、その都度その場所で、ニッコリ笑うポスターを見て、気分も新たに安全行動がとれるように、個人個人の自覚を持たせることを促しています。

従業員一同が、労働安全の意識を持ち、それぞれが自由に注意喚起できる職場環境を目指しています。

軽率な行動が死亡事故に直結する職場だからこそ、心身ともに健全な状態を保てる様、これからも全社一丸となって安全配慮に努めてまいります。



(出荷数量)

(引合、成約、契残)

	3月(実績)				4月(想定)				3月(実績)			
	前年比	前年実績比	前年比	前年実績比	前年比	前年実績比	前年比	前年実績比				
大型	228,830 m ³	116.9%	230,000 m ³	127.0%	引合	2,771,870 m ³	1110.8%					
小型	32,180 m ³	114.9%	30,000 m ³	106.6%	成約	2,348,910 m ³	1127.1%					
計	261,009 m ³	116.6%	260,000 m ³	124.3%	契残	6,162,956 m ³	168.5%					